

# 学習のしくみと流れ

## 《 授業 + 家庭学習 》



週1回の「授業」と週5回の「家庭学習」の組み合わせで学力を伸ばします。

**授業**

- ・勉強の楽しさを味わう(意欲)
- ・基本となる考え方を学ぶ
- ・積極的授業参加の姿勢を養う

**ホームワーク学習**

- ・学習の習慣を身につける
- ・授業で学んだことを定着させる
- ・基礎学力を定着させる

### 算数 40分

授業は、算数的な考えかたの育成や、算数のよさにふれる体験の提供に重きを置いています。そこで、教具を使った作業を多く採り入れ、五感を稼働させながら理屈の上でも感覚的にも理解を深めていける授業を実践しています。そのせいでしょか。授業中の子どもたちの目は輝き、新たな気づきや発見をすることの喜びに満ち溢れています。こうした学習体験を起点にして、家庭学習への積極的取り組みにつなげていけば、週1回の授業が大きな意味をもつことになるでしょう。

▼算数の文章題は、テープ図を使うと解き易いことを学びます。



▲自分で作って確かめるとよくわかります。

### 国語 40分

小学校低～中学年は、母国語の確かな遣い手になるための土台を形成する時期です。中学受験においても、国語力が全ての教科の学習に多大な影響を及ぼします。

ただし、読みの練習や漢字の学習は家庭でもできることです。こうした学習は副教材の守備範囲と定め、授業では文章を読むこと、書くこと、話すことの楽しさを子どもたちに体感させることに重きを置いて指導します。具体物やカードを多用したメリハリのある授業は、子どもたちにも大好評です。授業後の子どもたちの笑顔を、保護者の方々にも是非ご覧いただきたいですね(算数も同様です)。

▼視覚的にとらえたものと言葉とをつなげています。



▲ばらばらになったカードを組み合わせて漢字をつくります。

※土曜日が授業日の例。

## ホームワーク学習 (週5日)

**月曜日**  
ホームワークと副教材の学習①



**火曜日**  
ホームワークと副教材の学習②



**水曜日**  
ホームワークと副教材の学習③

ホームワークは、家庭学習用に開発されたオリジナル教材です。副教材では「音読」・「計算」をスキルアップします。

**木曜日**  
ホームワークと副教材の学習④



**金曜日**  
ホームワークと副教材の学習⑤

▲先生のコメントカード  
やり終えた1週間分のホームワークを提出。ナビゲーターの先生が取り組み状況をチェックして翌週の授業日に返します。

**土曜日 授業**

[ 授業日以外の週5日 ]

## 家庭学習

先々の学力伸長を視野に入れ、基礎の定着をめざします。

### ホームワーク

授業日以外の家庭学習をサポートするための教材です。算・国それぞれ1日1枚ずつ30～40分程度取り組んでいただき、授業での学習事項や基礎内容の定着をめざします。やり終えた1週間分(5日分)のホームワークは、授業日に提出していただきます。ナビゲーターの先生が取り組み状況をチェックし、翌週の授業日に返却します。

### ホームワークのねらい

ホームワークは、基礎内容や考える力を育むことを意図した家庭用教材です。理解の伴った知識を身につけることは、応用力を育み、やがて中学受験対策の学習にあたって効力を発揮していきます。また、学習習慣の育成を意図して、週5日分のプリントをご用意していますが、お子さんの負担になるようでしたら、はじめのうちは量を調整していただき、だんだんと習慣づけを図っていきとよいでしょう。

### 副教材

#### 計算練習帳

計算処理を正確に速くできる子どもは、テストでのミスが少ないうえ、効率的に答えを引き出すことができます。この能力は、低学年の頃からの鍛錬を通して身につけるべきものです。ジュニアスクールでは、副教材として「計算練習帳」を配布し、すべてのお子さんに計算力の確かな基礎が身につくようサポートしています。



#### 音読練習帳

黙読が速くて正確な子どもは、テストで圧倒的に有利です。制限時間内により多くの情報を処理できるからです。この黙読力の基礎は、音読の繰り返しで培われます。ジュニアスクールでは、黙読への移行期にある児童に音読の習練の機会を提供し、どの子にもしっかりと読みの力が備わるよう配慮しています。



### ホームワークガイド <保護者向け>

ホームワークの主要な課題について、望ましい解の導き方や、問題に関する解説を掲載した小冊子です。これを参考にお子さんのホームワーク学習をサポートしていただくと、より学習効果があがるでしょう。



### <保護者に必要なサポート>

#### 1. 学習計画を立てる

ホームワークと副教材の学習計画(各週5日)を、お子さんと一緒に立ててください。時間は、お子さんの現状に合わせて無理のないようにお願いします。

#### 2. 取り組みを見守る

子どもの取り組み具合は親の熱心度に比例します。できるだけそばで見守り、声をかけたり一緒に考えたりしてあげてください。

#### 3. Oつけとアドバイス

お子さんがやり終えたら、必ずその場でOつけをし、激励してあげてください。アドバイスにあたっては、毎月お送りする「ホームワークガイド」(保護者用解説書)をご活用ください。

## 学力を伸ばすためのコツって!?

### 1. 親の粘り強いフォローで、「学習習慣」の定着を!

学習習慣は定着するまでに時間がかかります。しかし、いったん身につくと簡単には失われません。低学年児童の場合、学習習慣を定着させるには、親が上手に励まし、やり遂げたら大いにほめることが肝要です。それを粘り強く継続しましょう。学習習慣が備わった子どもは、しだいに勉強の面白さにも気づくようになり、学力形成に弾みがつきます。

### 2. 「音読練習」が、読みの熟達に絶大な威力を発揮します!

学力形成は、読みの熟達とリンクしています。とかく、「日本語だから大丈夫」と思われがちですが、子どもの読みの速さや正確度は小学校入学からの3年間の読みの態勢づくり如何で決まります。読みの習練に欠かせないのは音読です。毎日一定時間取り組めば、正確に音読ができるようになり、しだいに黙読の態勢が整います。これによって読書が活発化し、語彙や思考の発達を促します。

### 3. 勉強は「リビング」でするのがいちばん!

子どもの勉強場所は、親から見える場所、親がいつでも声をかけられる場所がふさわしいと言われています。リビングや食卓などが望ましいでしょう。特に低～中学年児童の場合、親が見守って激励したりほめてくれたりすることが何よりも励みになります。東京大学の学生アンケートにおいても、「子どもの頃の勉強場所は?」という質問に対する回答でいちばん多かったのはリビングでした。子どもにはリビング学習を!

## テスト

学習の成果と課題を明らかにするうえで、テストは不可欠なものです。ジュニアスクールでは、短・中期のスパんで二つのテストを実施しています。

### 1～3年生・月1回 1. ステップアップテスト



1か月(4週間)の学習成果を試すためのテスト。家庭で時間を計り、取り組んでいただけます。答案は、翌週の授業日に提出いただけます(ホームワークコース生は郵送)。担当者が採点をし、コメントを添えて、後日返却(ホームワークコース生は返送)します。

### 3年生・年5回 2. チャレンジテスト



ジュニアスクール3年部の通学生対象の実力テストです。ステップアップテストよりも広範囲の単元から出題しますので、どのくらいの実力が身についているかがわかります。このテストは校舎で行い、資料を添えて後日お子さんに返却します。ホームワークコース3年生も、希望されれば最寄りの校舎で受けることが可能です(無料)。

授業 (週1日)

週ごとのテーマを専用プリントで学習します。作業を通して、学習事項を真に理解できるよう導きます。